

第6回定例研究会

『島津家と諸儀礼』有職故実の貴

第6回定例研究会は、尚古集成館館長の田村省三先生をお招きして、『島津家と諸儀礼』有職故実の貴』というテーマで講演いただきました。田村省三先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

昭和29年 鹿児島県川内市出身

昭和51年 玉川大学文学部芸術学科卒業、国学院大学文学部日本文学科・儀礼文化研究所を経て

昭和56年 鹿児島県明治百年記念館建設調査室（現黎明館）資料調査員

昭和60年 尚古集成館学芸員、現在に至る

主な役職

鹿児島県博物館協会副会長、鹿児島市文化財審議会副会長、鹿児島市立美術館協議会委員、示現流東郷財団理事、薩摩義士顕彰会顧問、南日本新聞客員論説委員（平成13年度）

主要論文等

『尚古集成館』（春苑堂出版）、『江戸大名の茶の湯』共同執筆（淡交社）、『薩摩の七傑』共同執筆（高城書房）、『島津斉彬の挑戦』共同執筆（尚古集成館）、「島津日新公といろは歌」、「昇平丸建造の経緯とその歴史的意義」、「木村嘉平の活字及び諸道具類一式」、「中西氏系譜草稿」

講師

田村 省三 氏（尚古集成館館長）

テーマ

「島津家と諸儀礼」有職故実の貴

講演日

2006年12月9日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205



©生活美学研究所

参加者の皆様も、熱心に質問をしていました。



©生活美学研究所

島津家と能との関係についてお話いただきました。